科目名 Subject	毛髪の健康科学 Science of Healthy Hair		教員名	相馬　勉	
開講年次	1	開講時期	前期	単位	1
必修／選択	必修	授業形態	講義	時間	30
実践的教育	○				
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・ コミュニケーション力
	◎	○	△	△	△
科目の概要	美容師は、お客様の頭皮や毛髪の状態を観察し、その方に適した方法で施術を行わなければならない 正しい診断をするためには、皮膚やその付属器官(毛髪等)における科学的知識が必要不可欠となる。本 授業においては、それらの知識を美容に関連付けながら学習し、理解を深める。				
授業の目標	美容師は、お客様の頭皮や毛髪の状態を観察し、その方に適した方法で施術を行わなければならない 正しい診断をするためには、皮膚やその付属器官(毛髪等)における科学的知識が必要不可欠となる。 本授業においては、それらの知識を美容に関連付けながら学習し理解を深め、毛髪科学理論の知識を習 得し美容師国家試験(筆記)合格できるようになる。 ヘアケアマイスターの資格も習得し美容室で即使える実践的な知識と最近の薬剤の傾向も解釈し実施で きるようになる。				
時間外学習 (予習・復習)	授業内にて、次回講義までの復習用・予習用の課題テキストを配布(70分程度) テキストは授業内容の約 80%を網羅する復習用課題と次回授業内容分の約 20%を含んだ予 習用課題で構成する 予習には教科書以外に美容雑誌等を使用可				
教科書・教材	教科書	保健			
	教材				
	使用設備・備品				
	参考文献	ヘアケアマイスター参考書、しんびよう等美容雑誌			
評価方法	授業態度、小テスト、期末試験				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
学生へのフィードバックの方法	定期試験の要点について、掲示にて解説を行います。				
履修上の注意	遅刻、欠席は原則認めません。また授業中の私語、勝手な退室等の不適切と思われる行為を 行った場合 は、欠席と同等の扱いとします。				
本科目履修と 関連する資格	資格名	美容師免許、ヘアケアマイスター(プライマリーコース)			

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第１回	オリエンテーション 毛髪科学理論とは?	毛髪の、人種・性別による差、特徴を類別する事ができる。	毛髪科学の専門用語をまとめたテキストを使用し、今後の授業内容の 理解度を上げる
第２回	前回の復習&毛の構造、その特性や働きはなにか?	前回の内容の理解を深め、毛髪の役割や働きを列記する事ができる。	毛髪構造に重点を置いたテキストを使用し構造図を作成する。引き続き専門用語の復習問題集を使用する
第３回	前回の復習&毛髪の特性、毛の型と毛の生長周期を学ぶ	前回の内容の理解を深め、小児の毛・大人の毛の違い、多毛・抜け毛について比較できる。	授業の1～3回の総復習テキストを使用し、再確認と、今後の授業の基礎を固める
第４回	前回の復習&毛の型の変化と毛の生長についての興味を深 めよう。	前回の内容の理解を深め、毛の生長と変化、薬物・化学物質などの外的要因の影響を関係づける事ができる。	ケミカルの知識と専門用語に対応できるオリジナルテキストを使用
第５回	前回の復習&毛の性状、構造、対水、対熱反応を知ろう。	前回の内容の理解を深め、毛の性状・タンパク質の構造と反応について説明できる。	毛髪科学のより専門的な内容と科学的変化の確認用テキストとタンパク質構造のまとめ資料配布
第６回	前回の復習をし、引き続きタンパク質構造の理解と、毛髪の対薬剤反応とは?	前回の内容を理解したうえで、タンパク質の薬剤による変化とダメージの例を挙げる事ができる。	美容業務における主要薬剤の成分をまとめたオリジナル資料を使用し薬剤知識を深めておく
第７回	シャンプー剤・トリートメント剤・スキャルプトリートメント剤の種類と分類。シリコンの良し悪しとは?	前回の内容を復習し、シャンプー・トリートメントの効果とそれによる頭皮環境、育毛効果の影響を述べる事ができる。	美容業務における主要薬剤の復習 +需要の高いシャンプー剤の特徴 の復習資料で現行の傾向を知る
第８回	毛髪科学理論 実践編１ 毛髪の機能と毛髪の構造を徹底分析!	毛髪の構造と詳細なデータをより深くサロンベースで理解し具体的に述べる事ができる。	前半授業内容の総復習テキストと、より緻密な専門用語集で予復習をする
第９回	毛髪科学理論 実践編2 多様性に対応!カラーの知識	染毛剤による毛髪、皮膚への影響、メラニンの構造を理解し、発色の仕組みを解釈できるようになる。	カラー剤の知識と現在の傾向をより深く理解できるオリジナルテキストを使用
第１０回	毛髪科学理論 実践編3 形状記憶?パーマ剤の知識	パーマ剤の毛髪と皮膚への影響、結合組織のダメージコントロールを理論的に関係づける事ができる。	パーマの種類と技術内容により、変化する毛髪成分を複雑さを理解する特別テキストを使用
第１１回	潤い?ツヤ?ハリ＆コシ? トリートメントの違いを知ろう。	施術内容にあわせたケアの方法、前後処理剤選定の効果的な使用法を実践レベルで類別できる。	カラー剤とパーマ剤の髪に及ぼす変化と効果の復習
第１２回	頭皮と頭毛の手入れ法と、皮膚のトラブルと育毛メカニズムを知ろう。	頭皮頭毛の正しい手入れ法と毛と皮膚疾患の種類と特徴、その原因をお客様に説明できる。	頭皮、頭毛の知識を説明できる用語集を使用し、現場で活かせる知識を得る
第１３回	頭皮診断&毛髪診断と目的別カウンセリングなど。	現状の毛髪の状況(髪質・クセ毛・ダメージレベルなど)の見極め方や前・後処理の目的と効果を適用できる。	薬、熱、クセの違いのまとめ問題集を使用
第１４回	ヘアケア剤の多様性について知ろう。	界面活性剤・シャンプー剤・トリートメント剤・スタイリング剤の成分と働き、効果効能の例を挙げる事ができる。	ヘアケアの知識と応用技術の理解を深める問題集を使用
第１５回	授業の振り返り(総復習)	ヘアケアマイスター試験に重要な箇所の再確認し、資格取得に向けて学んだ知識を応用できる。	15回の授業のまとめテキストと総復習